

重点施策のポイント 林業分野

成熟した森林資源をダイナミックに活用した所得の向上と雇用の創出
～ 安定した原木供給体制の確立と木材需要の拡大 ～

原木生産

加工体制

流通・販売

木質バイオマス

H25 ※数量は見込（H25到達目標）

◆生産性の向上と原木の増産 **60.0万m3** (5,271,474千円)

- 森林の集約化と経営委任の推進
- 地形や地質にマッチした効率的な生産システムの導入を支援
- 皆伐による原木の増産
- 大型製材工場や県内製材工場等への原木の安定供給システムの構築
- 協定取引の推進

◆事業体や担い手の育成 **1,695人** (97,545千円)

- 森林組合の経営力強化
- 新規事業者等や新規参事業体の増加と技術力の向上
- 自伐林家等による生産を促進

◆企業誘致等による大型加工施設の整備 **22.7万m3** (896,298千円)

- 大型製材工場の施設整備を支援

◆県内加工事業体の生産力等の強化 **175,000千円**

- 県内事業者による大型製材工場の検討
- 既存事業者の加工力の増強を推進

◆高次加工施設の整備 (-)

- C L T 建築推進協議会の設立
- C L T の普及

◆流通の統合・効率化 **14.8万m3** (24,746千円)

- 大消費地に設置した流通拠点を活用した土佐材の流通コストの低減
- 県外販売窓口の一元化に向けた取組の促進

◆販売力の強化 **38,779千円**

- 大消費地への販路拡大
- J A S 工場の製品出荷量を増やして、J A S 製品の安定供給体制を確立
- 土佐材パートナー企業の増加と卸販売の拡大

◆地産地消の推進 **489,705千円**

- 県産材を利用した木造住宅への支援
- 公共事業や公共施設等での県産材の利用推進

◆木質バイオマスのエネルギー利用の推進 **31.5万トン** (356,638千円)

- 幅広い分野での木質バイオマス利用を促進
- 木質バイオマス発電の推進

H26

◆生産性の向上と原木の増産 **68.0万m3(+6万m3)** (4,432,165千円)

課題

- 計画的かつ一体的な森林施策の実施に不可欠な森林経営計画を速やかに作成することが必要
- 短期間に大量の原木を増産することが必要であるが材価が低迷する中で進んでいない

対策

- 森林経営計画の作成や森林の集約化のために行う地域活動及び認定された森林の巡視、防護柵の補修、作業道等の維持修繕の支援【森林整備地域活動支援事業】 **拡充**
- 撤出間伐への支援【造林事業、森の工場活性化対策事業】
- 協定に基づく原木の運搬経費や皆伐により原木を生産するための作業道等の整備を支援【製材用原木増産支援事業】

◆事業体や担い手の育成 **1,713人(+18人)** (92,362千円)

課題

- 生産性の向上や労働安全の観点から新規事業者等の技術力を高めることが必要
- 地域の中核的施業主体である森林組合が安定的に経営を継続できる意欲と能力を備えた組織となることが必要

対策

- 緑の雇用、森林・林業人材育成加速化事業等の活用による雇用の確保、人材育成の強化【林業労働力確保支援センター事業】
- 森林組合の経営改善指導による体質の強化【森林組合経営改善事業】

◆県内加工事業体の生産力等の強化 **25.2万m3(+2.5万m3)** (185,040千円)

課題

- 機械設備が不十分で生産コストが高く、品質の確保等の消費者ニーズに対応しきれていない

対策

- 県内既存事業者の加工力の維持・増進のための設備投資への支援【木材加工流通施設整備事業、県産材加工力強化事業】

◆高次加工施設の整備 **72,330千円**

課題

- 飛躍的な木材需要の拡大が見込めるC L T の推進を図るとともに、C L T のマーケットの確保のために先行した工場の誘致が必要

対策

- C L T 建築推進協議会が実施する、先進的なモデル建築物の整備や技術の蓄積等にかかる経費の支援、C L T パネル工場の県内での整備に必要な調査【C L T 建築促進事業】 **NEW**

◆流通の統合・効率化 **17.3万m3(+2.5万m3)** (24,140千円)

課題

- 大消費地から遠隔地であり輸送コストが高い

対策

- 県産材製品の流通拠点の円滑な運営を支援するとともに、県外販売窓口を担う体制づくりを支援【新しい木材流通拠点整備事業、販売拡大拠点設置事業】

◆販売力の強化 **52,851千円**

課題

- まとまりを持った流通により応需能力を高めるとともに、市況や為替の影響を受けにくい商品力の高い製品やサービスの磨き上げが必要

対策

- 流通拠点を活用した県外工務店や木材流通業者等とのネットワークを形成【土佐の木住まい普及推進事業、土佐の木販売促進事業】
- 内航船を使用した輸送の実現可能性調査、県外消費地への営業拠点の設置、新規取引締結のためのサンプル出荷を支援【土佐材販売力抜本強化事業】 **NEW**
- 品質を確保した県産材を性能表示して販売する取組を支援【性能表示木材流通促進事業】

◆地産地消の推進 **360,126千円**

課題

- 県内の住宅や公共建築物の木材利用をさらに進めることが必要

対策

- 県産乾燥材を使用した住宅の建築、リフォームを支援【こうち木の住まいづくり助成事業】
- 県産材を活用した公共的施設や景観施設の整備、県産木製品等の導入を支援【木の香るまちづくり推進事業費】
- 木材利用を推進するため木造公共施設等の整備を支援【木造公共施設等整備事業】

◆木質バイオマスのエネルギー利用の推進 **35.9万トン(+4.4万トン)** (3,763,093千円)

課題

- 原木増産に伴い増加する低質材の用途としてバイオマス利用を拡大する必要がある

対策

- 木質バイオマスボイラーの導入支援【木質資源利用促進事業】
- 木質バイオマス発電施設（2カ所）整備への支援【木質バイオマス発電事業】（平成25年度債務負担行為の現年予算化）

H27

72.0万m3

○原木生産量



1,732人

○担い手数





30.0万m3

○製材品の生産量



22.0万m3

○県産製材品の県外出荷量

40.3万トン

○木質バイオマス利用量



原木の増産と安定供給に向けて

～平成26年度原木増産関連予算(見積)総額19億円～



原木生産量

H25: 60万m³

H26: 66万m³

H27: 72万m³